

---

# MEMORY STORY

宮琵

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

MEMORY STORY

### 【著者名】

N3054BA

### 【作者名】 富麗

富麗

### 【あらすじ】

最後はハッピーエンド(?)です

誰かに頼りたくない 困らせたくない

誰か?…誰でもない君だった

君だけの物語 そこに私は何回登場出来る?

道端で見つけた捨てられた子犬  
まるで私のよう…でも私にはかわいく鳴いて君を呼ぶ」とさえ出来  
ない

私の世界は真っ暗で君と違つて明るい世界ではないんだよ  
行く先も闇ばかりで君のように終着点なんて見えない  
らしくないけれど助けを求めてみるけれど…助けなんて来ないよ

「私のため」は「一人のため」で

一人を愛しすぎた私には誰も来ない  
今日も世界が変わっていく

ほらここだよって負けるつもりで掲げる白旗

黒く塗りつぶされる白星に君の笑顔が映つていた

孤独か私か

曖昧な時間だけが私を壊していく

些細な言葉もいつも通りの空も

明快な答えだけを求めている

モノクロのフィルターがかかった私の目には何もかも色あせて見えるんだよ

世界最大級の渴きがそれ以上の愛を求めて彷徨つ今日も  
誰かを求めて 存在を求めて…君を求めて

君の世界はカラフルで私と違つてモノクロの世界ではないんだよ  
もしも君が私のことを忘れたら私はどこで存在<sup>いき</sup>していけばいいの?  
君の記憶から私がいなくなつたら私は誰の思い出の中にいるの?

「愛を語るなんてガキのすることじゃない」って  
もうオトナなのと言ひ張つて愛を知つたかぶり

「愛なんて語れない」

「ドモだから?違つ一人だから

私は君と違つて真つ白でないんだよ  
真つ黒で何もかも染めてしまうんだよ  
だからお願ひ 近寄らないで  
君まで黒くならなくともいいんだよ

回る世界の中心点

そこには私だけただ冷酷に世界の変貌を見つめている  
モノクロの膜が目に張つて君まで黒く見えてしまつ

望んでばっかりで立ち上がれないんだよ

「君の記憶」にあと何回出てこれる?

「私の思い出」の主人公は君なんだよ  
いつもセツナイつて言い捨てて  
君を待つていたんだよ

「待つていた」なんて聞き間違いじゃないよね?

手を取りあって灰色になれば…

黒色と白色で灰色になれば不協和音でもないはず  
わたし きみ ふたり

君が言ったんだよ…信じてもいいでしょう?

真っ暗な世界で見えた君は私の希望…それも悪くない

モノクロに色づく私の世界に色を塗る君は笑っていたんだよ

渴きに飢える思い出は愛を求めた

隅っこを求めて世界の中心点

全てを見下ろすの

君と私で手をつないで

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3054ba/>

---

MEMORY STORY

2012年1月10日18時52分発行